※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１８

令和５年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　家庭基礎　持続可能な未来をつくる（第一学習社）						
副教材等	プリントなど						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

よりよく生きるとはどのようなことなのかを考え、関心を持ち、自ら実践してみましょう。
・生活の様々な現象や課題をグループワークや実習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。周りの人の考えを聞いて多様な考え方を知り、自分の考えを持ちましょう。
・実践的、体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けましょう。
・学んだことを自分の生活問題として捉え、よりよい生き方をめざしましょう。
・自分の考えを積極的に発言しましょう。

２　学習の到達目標

・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得する。
・家庭や地域における生活課題について思考し、その課題を創造的に解決し表現する力を養う。
・家庭生活について積極的に学ぶ態度を身につけ、自らの生活の質の向上に努める姿勢を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を発見し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、創造的に解決する力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて自ら学び、生活の質の向上と社会の発展のために、主体的で協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章 これからの生き方と家族	1節　生涯の生活設計 2節　家族･家庭と社会とのかかわり	a:　生涯発達についての視点と、家族・家庭の意義、社会との関わりについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 b:生涯発達、家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、それを創造的に解決する力を身に付けている。 c:　生涯学習、家族・家庭について自ら学び、それらの課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 学習プリント ノート
	2章 次世代をはぐくむ	1節　子どもの発達 2節　子どもの生活 3節　子育て支援と福祉 【保育に関する製作物】	a:乳幼児期の心身の発達、親の役割、子どもを取り巻く環境や子育て支援について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 b:　乳幼児期の心身の発達、親の役割、子どもを取り巻く環境や子育て支援について課題を発見し、その課題解決をめざして思考を深め、創造的に解決することができる。 c:　乳幼児期の心身の発達、親の役割、子どもを取り巻く環境や子育て支援について自ら学び、主体的で協働的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート 発表	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート 発表 製作物	学習状況の観察 学習プリント ノート 発表 製作物

※令和４年度以降入学生用

	3章　充実した生涯へ	1　超高齢社会を生きる 2　人生のなかで高齢期をとらえる 3　高齢期の生活 4　高齢社会を支える 5　充実した高齢期へ	a:高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 b:　高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援について課題を発見し、高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域、社会の果たす役割について考察することができる。 c:　高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援について、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 学習プリント ノート
2学期	4章　ともに生きる	1　社会保障制度と社会的連帯 2　人の多様性と社会参加	a:家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 b:　家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について課題を発見し、その課題解決をめざして思考を深め、創造的に解決することができる。 c:家庭や地域の一員として共に支え合って生活することができるよう、福祉や社会的支援について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 学習プリント ノート

※令和４年度以降入学生用

	5章　食生活をつくる	1節　人の一生と食事 2節　栄養と食品 3節　食生活の安全のために 4節　食生活をデザインする 【調理実習】	a:栄養の特徴や、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 b:　栄養の特徴や、健康や環境に配慮した食生活について課題を発見しその課題解決をめざして思考を深め、創造的に解決することができる。 c:　栄養の特徴や、健康や環境に配慮した食生活について自ら考察し、自らの食生活を工夫することができる。	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート 実習レポート	学習状況の観察 学習プリント ノート 実習レポート
	6章　衣生活をつくる	1節　人の一生と被服 2節　被服材料と管理 3節　これからの衣生活 【作品製作】	a:被服の機能と着装、被服材料、被服衛生等について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な技能を身に付けている。 b:　被服の機能と着装、被服材料、被服衛生等について課題を発見しその課題解決をめざして思考を深め、創造的に解決することができる。 c:　被服の機能と着装、被服材料、被服衛生等について自ら学び、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫することができる。	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート 製作物	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 学習プリント ノート 製作物

※令和４年度以降入学生用

3学期	7章　住生活をつくる	1節　人の一生と住まい 2節　住生活の計画と選択	a:住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 b:　住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について課題を発見しその課題解決をめざして思考を深め、創造的に解決することができる。 c:　住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について自ら学び、安全や環境に配慮した住生活作りのために主体的で協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 学習プリント ノート
	8章　経済生活をつくる	1節　私たちの暮らしと経済	a:家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理について理解するとともに、関連する技能を身に付けている。 b:生涯を通しての経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察することができる。 c:　家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理について自ら学び、生涯を通しての経済の管理や計画について主体的に取り組むとこができる。	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 学習プリント ノート

※令和４年度以降入学生用

		2節　消費者問題を考える	a:消費生活の現状と課題について理解しているとともに、生活情報を適切に活用する技能を身に付けている。 b:消費者の現状と課題について思考を深め、創造的に解決することができる。 c:消費者の現状と課題について自ら学び、その解決に向けて主体的に取り組むことができる。	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート 発表	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート 発表	学習状況の観察 学習プリント ノート 発表
		3節　持続可能な社会をめざして	a:持続可能な社会について理解するとともに、必要な技能を身に付けている。 b：持続可能な社会について思考を深め、課題について創造的に解決することができる。 c：持続可能な社会をめざして主体的に行動できるよう、安全で安心な消費について考察し、自らのライフスタイルを工夫することができる。	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 学習プリント ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度